

公明党東京都本部と 都民ファーストの会が政策合意!

公明党東京都本部と小池百合子知事が率いる地域政党「都民ファーストの会」は、東京改革を確実に進めるため、政策合意を締結した事を発表しました。

小林けんじは小池知事とともに、東京大改革の先頭に立ち、闘い抜いてまいります!

政策合意締結の経緯

- ①これまでの定例会本会議における公明党の質問に対し、小池知事の答弁が誠実で真摯なものであり、公明党と小池都政が掲げる改革と方向性が一致しています。
- ②2017年度予算案には、公明党が要望した私立高校授業料の実質無償化をはじめ、鉄道駅のホームドア増設、女性の視点を重視した防災対策など、数多くの提案が盛り込まれました。



小池知事 「公明との協力、心強い」

小池知事は政策合意の締結を踏まえ、「都民ファーストの都政を確実に前に進めるためにも、都議会が新しく、よりグレードアップして進んでもらえることは、都知事として非常に重要なことであり、今回の政策合意については心強いことだ」と述べています。

防災、福祉、教育など35項目の実現

都議会公明党と都民ファーストは政策合意を締結。東京改革や、五輪・パラリンピックの成功、防災・減災対策、福祉先進都市、人づくりの教育など10分野、35項目で合意しました。

SNSを使って小林けんじと繋がろう!



YouTube YOUTUBEへ



メルマガへ



LINEへ



Facebookへ



Twitterへ

KOBAYASHI KENJI News

<https://kobaken-komei.com/>

小林けんじ 後援会ニュース

2017年 春夏号

未来に責任。 安全・安心の 東京へ。



「ごあいさつ」

このたびは、「小林けんじ後援会」の趣旨にご賛同頂き、誠にありがとうございます。

8年前の初当選以来、一人一人から多くの声を届けて頂き、4000件を超える区民相談、100回に及ぶ都議会での質問・発言を積み重ねることができました。皆様からの心温まる応援に支えられ、元気いっぱい走り続けております。心より感謝申し上げます。

先日うかがった、ある都立高校の卒業式で、私が都議会でも取り上げて実施された「聴覚障がい者への介助通訳者派遣制度」を活用した生徒の保護者から、「充実した高校生活を送ることができました」とのうれしい言葉を掛けて頂きました。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向け、都政は大きな転換期を迎えております。変化の時こそ、公明党の立党精神である「大衆とともに」を根本に、皆様に喜んで頂くため、山積する課題の解決に、全力で取り組んでまいります。

小林けんじプロフィール

- 1969年10月11日 練馬区石神井町生まれ 47歳
- 石神井保育園 卒園
- 練馬区立光和小学校 卒業
- 練馬区立三原台中学校 卒業
- 東京都立鷺宮高等学校 卒業
- 創価大学文学部人文学科 卒業
- 石井啓一衆議院議員(現国土交通大臣)公設秘書
- 斉藤鉄夫衆議院議員(元環境大臣)政策秘書
→国会議員秘書を13年間経験
- 2009年 東京都議会議員に初当選
- 2013年 2期目の当選
- 現在、都議会厚生委員長、豊洲市場移転問題に関する調査特別委員会(百条委員会)委員
党都本部青年局長、党練馬総支部長